

日本外傷データベース入力項目一覧								
コア項目(入力必須、項目により「不明」「該当せず」「施行せず」を加える) オプション(入力なしでも可) * 計算で自動入力								
項目番号	項目分類	入力項目一覧	必須項目	形式	備考、入力上の留意点	定義	備考	語句の定義
患者初期情報								
1		利用者IDおよびパスワード		選択	あらかじめ参加施設ごとにIDとパスワードを決定しておく			
2		年齢		数値	直接入力(患者を特定できないようにするため、生年月日は使わない)。不詳例では「不明」あるいは「推定」をチェック。	0歳児は月齢で入力(0~11)		
3		性別		選択	1.男 2.女(「不明」は認めない)	戸籍上の性別ではなく生物学的性別を入力		
4		患者ID		数値	登録施設において後日、患者の特定を可能にしておくように、各施設で決定する。		各病院で用いられているIDは患者特定の可能性があるためと、同一患者が再入院したときに2重登録できなくなるためそのままの使用は避ける。	
5		受傷年月日		日付	yyyy/mm/dd	西暦年/月/日		
6		受傷時刻		数値	1.hh:mm(24時間制、推定でよい) 2.不明	(0:00~23:59)で入力、時間が確定できないときは推定で、全く不明の場合には不明を入力		
7		受傷原因		選択	1.不慮の事故 2.自損(自殺企図) 3.傷害 4.労災 5.他	5,他は吸入損傷(inhalationなど)不明の場合には不明を入力		
8		外傷分類		選択	1.鈍的 2.穿透性損傷 3.熱傷 4.その他			
9		受傷機転		選択	[1.受傷機転]シート参照(いずれかひとつ)			
病院前情報								
10		搬送経路		選択	1.現場から直接救急搬送 2.医療機関から転送 3.他	傷病者が現場から病院に搬送されるまでの経路		以下「病院」とは現在入力作業をしている登録施設のことを指し、転送元病院は含まない。「現場から直接救急搬送」とは、外傷が生じた場所またはその付近から、搬送手段の種類と回数を問わず、間に他の医療機関を介さずに、登録施設へ搬送された場合を示す。「その他」は受傷後現場からではなく他の場所(自宅や会社など)から搬送された場合を含む。
11		搬送手段		選択	1.救急車 2.ドクターカー 3.自家用車 4.ヘリ 5.独歩 5.他	傷病者を病院まで搬送した手段	1.救急車 2.ドクターカー 3.自家用車 4.ヘリ 5.独歩 5.他 複数の手段を使用した場合には該当する項目全てにチェックを入れる。「他」には、タクシー、バス、バイク、パトカーなどが含まれる	
12		消防機関名		文字	地域ごとのMCに必要となる可能性あり、各施設独自のコード入力でも可	傷病者に接触した消防局救急隊の所属消防機関名	各施設独自のコード入力でも可 医療機関からの転送の場合など複数の救急隊が搬送に関与している場合は、最初に搬送にあたった救急隊が所属する機関名とする。	
13		覚知時刻(日時)		時刻	yyyy/mm/dd/hh/mm	消防局指令センターに救急要請があり出動を指示した時刻(入電時刻ではない)	yyyy(西暦)/mm/dd/hh/mm形式で入力する 医療機関に直接連絡が入った場合にはその時刻を入力する	
14		現着時刻(日時)		時刻	yyyy/mm/dd/hh/mm	消防局救急車が現場に到着した時刻	yyyy(西暦)/mm/dd/hh/mm形式で入力する	
15		傷病者接触時刻(日時)		時刻	yyyy/mm/dd/hh/mm	救急隊が傷病者に実際に接触し、救護が開始された時刻		
16		現発時刻(日時)		時刻	yyyy/mm/dd/hh/mm	傷病者が現場から搬送開始された時刻	yyyy(西暦)/mm/dd/hh/mm形式で入力する これらの項目に関しては搬送手段の種類を問わない	
17		病院着時刻(日時)		数値	yyyy/mm/dd/hh/mm	傷病者が病院に到着した時刻	消防局救急隊記載時刻を用いる 転院搬送の場合「17、病院着時刻」は最終的に治療を行う病院への到着時刻を入力する。	
18		搬送時間	*	計算	=「#19病院着時刻」-「#13覚知時刻」(または#15傷病者接触時刻)	傷病者の搬送に要した時間	救急要請から、到着までの時間とする	
19		救急救命士同乗		選択	1.あり 2.なし	救急救命士を含んだ救急隊による搬送		

項目番号	項目分類	入力項目一覧	必須形式項目	備考、入力上の留意点	定義	備考	語句の定義
20		病院前処置	選択	1.酸素吸入 2.頸椎カラー 3.バックボード 4.ショックパンツ使用 5.副子固定 6.CPR 7.エアウェイ挿入 8.ラリゲアルマスク 9.コンビチューブ 10.EGTA/EOA 11.除細動 12.静脈路確保 13.その他 14.施行せず	現場および搬送中に行われた処置	「施行せず」とは、病院前処置が施行されていないことが明らかの場合に選択する。「不明」は病院前処置のいずれかを施行したがその内容が分からないとき、または何を施行したかどうかが分からないときに選択する。CPRは、心マッサージおよびバッグマスク換気をさす。処置施行者は医師以外に限る。またドクターカー内で行われた処置も含まない	
21		現場血圧	数値	収縮期血圧と拡張期血圧。車内収容時での血圧でも可。「測定不能」「測定せず、不明」の時のチェック欄加える	最初に測定された傷病者の収縮期血圧と拡張期血圧	車内収容時での血圧でも可。医療機関からの転送の場合、測定したが記載がない場合、あるいは測定しなかった場合、機器異常により数値を確定できなかった場合には「測定せず、不明」にチェックする。測定したが、数値を確定できなかった場合には「測定不能」をチェックする。	
22		現場脈拍数	数値	車内収容時での脈拍数・心拍数でも可。「触知不能」「測定せずまたは不明」の時のチェック欄加える。	最初に測定された傷病者の脈拍数	車内収容時での脈拍数・心拍数でも可。医療機関からの転送の場合、測定したが記載がない場合、あるいは測定しなかった場合には「測定せず、または不明」にチェックする。測定したが、数値を確定できなかった場合には「測定不能」をチェックする。	
23		現場呼吸数	数値	車内収容時での呼吸数でも可。「測定せず、不明」の時のチェック欄加える	最初に測定された傷病者の呼吸回数	車内収容時での呼吸数でも可。医療機関からの転送の場合、測定したが記載がない場合、あるいは測定しなかった場合には「測定せず、または不明」にチェックする。測定したが、数値を確定できなかった場合には「測定不能」をチェックする。	
24		現場JCS	数値	0、1、2、3、10、20、30、100、200、300、不明	最初に判定された傷病者のJCS	記載ない場合および施行していない場合は不明欄へ	
25		現場GCS-E	数値	1、2、3、4、不明	最初に測定された傷病者のグラスゴー・コーマスケールの開眼レベル		
26		現場GCS-V	数値	1、2、3、4、5、不明	最初に測定された傷病者のグラスゴー・コーマスケールの「言葉による応答」レベル		
27		現場GCS-M	数値	1、2、3、4、5、6、不明	最初に測定された傷病者のグラスゴー・コーマスケールの「運動による最良の応答」レベル		
28		現場GCS	計算値	3～15、不明	最初に測定された傷病者のグラスゴー・コーマスケール総合点数		
	転送情報		(搬送経路)				
29		初期消防機関名	文字	削除			
30		転送元病院分類	選択	1.一次救急施設 2.二次救急施設(救急告示病院) 3.救命救急センター 4.他	転送を依頼した病院の分類 複数の病院を経由した場合は最後の病院について記載すること。	「不明」は病院の分類が分からないときに選択する。	「転送元病院」:当施設へ転送を直接依頼した病院 「一次救急施設」:外来診療によって救急患者の医療を担当する医療施設 「二次救急施設」:入院診療もしくは特殊検査・治療が必要な救急患者の診療にあたる施設 「救命救急センター」:重篤救急患者の医療を24時間体制で行うために設置された施設
31		転送理由	選択	1.処置不能 2.満床 3.専門医不在 4.病状悪化 5.他(前医の転送依頼電話、情報提供書などから決定する)	転送を依頼した病院における転送理由 複数の病院を経由した場合は最後の病院について記載すること。	前医の転送依頼電話、情報提供書などから決定するが、「不明」は転送を依頼した理由が分からない時に選択する。	
32		転送元病院収容日	数値	yyyy/mm/dd	転送を依頼した病院に患者が収容された日時	当施設へ転送を依頼した病院の患者収容日時を年を西暦で、時間は24時間制表記(yyyy/mm/dd/hh/mm)で入力する。おおよその時間しか分からないときは、その時間を入力し「推測」にチェックを入れる。不明の時は日時を入力せず「不明」にチェックを入れる。	「転送元病院」:当施設へ転送を直接依頼した病院
33		転送元病院収容時刻	数値	hh:mm	同上	同上	
34		転送元病院出発日	数値	yyyy/mm/dd	転送を依頼した病院から患者が出発した日時	当施設へ転送を依頼した病院から患者が出発した日時を年を西暦で、時間は24時間制表記(yyyy/mm/dd/hh/mm)で入力する。おおよその時間しか分からないときは、その時間を入力し「推測」にチェックを入れる。不明の時は日時を入力せず「不明」にチェックを入れる。	
35		転送元病院出発時刻	数値	hh:mm	同上	同上	
36		受傷から当施設搬入までの時間	* 時間	hh:mm(自動計算)	受傷時刻から当施設に搬入された時刻までの時間	自動計算(hh/mm)	
37		経由病院数	数値	現場から直接搬送の時は「0」なので入力不要。	最初に搬送された病院から当施設までの間に経由した病院の数	現場から直接搬送の時は「0」なので入力不要	

項目番号	項目分類	入力項目一覧	必須項目	形式	備考、入力上の留意点	定義	備考	語句の定義
	来院時病態				'38、収縮期血圧'から'47、GCS-M、'までは最初の測定値、評価値を入力すること。			
38		収縮期血圧		数値	心拍あるも血圧測定不能時は'40'、脈拍触れずは'0'。'不明'のチェック欄加える	心拍動による動脈内血圧変動のうち最も高い血圧	心拍あるも血圧測定不能時は'40'、脈拍触れずは'0'を入力する。不明の時は数値を入力せず'不明'にチェックを入れる。	
39		拡張期血圧		数値	触診の時は入力せず	心拍動による動脈内血圧変動のうち最も低い血圧	触診のときは入力せず。	
40		呼吸数		数値	'不明'のチェック欄加える	来院時の呼吸数	'不明'測定していない場合、あるいはわからない時は'不明'を選択する。	
41		心拍数		数値	'不明'のチェック欄加える	来院時の心拍数	'不明'記録していない場合、あるいはわからない時は'不明'を選択する。	
42		体温()		数値	'不明'のチェック欄加える	来院時の体温	体温は摂氏で入力する。 '不明'測定していない場合、あるいはわからない時は'不明'を選択する。	
43		体温測定部位		選択	1.腋窩 2.直腸 3.鼓膜 4.不明	体温を測定した体の部位	測定した部位がわからない場合は'不明'にチェックを入れる。	
44		JCS		選択	0、1、2、3、10、20、30、100、200、300、不明	来院した時点のJCSに基づいた意識レベル	わからないときは'不明'を選択する。 R: 落ち着きがない、I: 失禁あり、A: 無動性無言症の記号を付す必要はない。	
45 46 47		GCS-E GCS-V GCS-M		選択	1、2、3、4、不明	来院した時点のGCSに基づいた意識レベル	E(1、2、3、4) '不明' V(1、2、3、4、5、1)、Iは挿管時 '不明' M(1、2、3、4、5、6) '不明' 各々の項目で点数がわからないときは'不明'を選択する。 合計(自動計算: ただし、E、V、Mの何れかが不明、あるいはVがIの時は計算不能)	
48		GCS	*	計算値	3-15、但し、#43 - #45何れかが不明または#44が'1'の時'計算不能'。			
49		受傷前飲酒		選択	1.あり 2.なし 3.不明	受傷する前に飲酒していたか否か	'あり' 'なし' '不明' '不明'は飲酒したかどうか分からないときに選択する。	
50		血中アルコール濃度		数値	測定施設のみ	来院した時点における血液中のアルコール濃度	測定施設のみ単位を含めて記入	
51		RTS	*	計算値	自動計算(#37、#39、#46データから)。各項目で'不明'あれば、計算しない。	来院時の患者の状態から算出された改訂	自動計算	
52		既往症		選択	[2.既往症]シート参照(複数選択可)	患者の出生時から現在までの病歴	医師に指摘され、通院層のある疾患について以下の項目を選択する。診断が曖昧な場合には選択しない。複数の選択は可。 '既往疾患なし' 循環器疾患('虚血性心疾患'・'心不全'・'高血圧'・'その他') 呼吸器疾患('気管支喘息'・'COPD'・'その他慢性肺疾患') 消化器疾患('肝硬変'・'慢性肝炎'・'消化性潰瘍'・'炎症性腸疾患'・'その他') 代謝性疾患('糖尿病'・'高度肥満'・'その他') 中枢性・精神疾患('脳血管障害(片麻痺等)'・'精神疾患'・'痴呆'・'精神発達遅滞'・'その他') 免疫不全、癌など('HIV、AIDS'・'悪性腫瘍治療中'・'血液疾患治療中'・'ステロイド療法中'・'免疫抑制剤療法中'・'血液凝固抑制剤療法中'・'血液透析中'・'慢性腎不全'・'妊娠中'・'その他')	COPD: chronic obstructive pulmonary disease (慢性閉塞性肺疾患)、慢性気管支炎と肺気腫を合併して気流制限を呈する症例のうち気管支喘息ではない病態を指す。 炎症性腸疾患: 原因不明の腸管の非特異性炎症である潰瘍性大腸炎とクローン病を総称する。 HIV/AIDS: human immunodeficiency virus (ヒト免疫不全ウイルス) 感染による acquired immunodeficiency syndrome (後天性免疫不全症候群) のこと。
	初療時の検査と処置							
53		医師診察開始時間		時刻	hh:mm	医師が実際に診察を開始した日時	医師以外の者(看護師等)の診察は考慮しない。 年は西暦で、時間は24時間制表記で入力する。 おおよその時間しか分からないときは、その時間を入力し'推定'にチェックを入れる。 不明の時は日時を入力せず'不明'にチェックを入れる。	
54		腹部超音波エコー (FAST)		選択	1.陽性(出血あり) 2.陰性(出血なし) 3.施行せず	初療の期間内に施行したFocused Assessment with Sonography for Trauma(FAST)の結果。	'陽性' '陰性' '不明' '施行せず' '不明'はFASTを施行したが結果が分からないとき、またはFASTを施行したかどうか分からないときに選択する。	'初療の期間': '医師診察開始時間'を始まりとし、以下の項目を終わりとする期間。 '病室へ入室(ICU、HCU等も含む)する時' '手術室・血管造影室へ入室する時' '転院・転科する時' '死亡した時' 病室や手術室へ入室する前にCTを撮影する場合、撮影中は初療の期間内である。

項目番号	項目分類	入力項目一覧	必須形式項目	備考、入力上の留意点	定義	備考	語句の定義
55		CTスキャン	選択	1.頭部 2.頸部 3.胸部 4.腹部 5.骨盤 6.脊椎 7.施行せず	初療の期間内に撮影したCT撮影部位。	「不明」はCTを撮影したが撮影部位が分からない時、またはCTを撮影したかどうか分からない時に選択する。	
56	No.58の項目中にあり削除	CT施行時刻	時刻	hh:mm	初療の期間内に撮影したCTを実際に撮影を開始した時間。撮影の開始は最初にX線を放射した時間とする。不明の場合は入室時間、CT室へ出発した時間で代用しても構わない。	複数部位を撮影した場合は最初に撮影した部位の撮影開始時間とする。年は西暦で、時間は24時間制表記で入力する。おおよその時間しか分からないときは、その時間を入力し「推定」にチェックを入れる。不明の時は日時を入力せず「不明」にチェックを入れる。スカウトビューを撮影するためのX線放射を撮影開始時間としてもよい。「CTスキャン」の項目で「不明」を選択した場合、「CT施行時間」の項目は全てblankとする。「不明」にチェックをいれてはならない。	
57		緊急血管造影	選択	1.頭部 2.頸部 3.胸部 4.腹部 5.骨盤 6.他 7.施行せず	緊急血管造影を実施した部位。	「不明」は緊急血管造影を撮影したが撮影部位が分からない時、または緊急血管造影を撮影したかどうか分からない時に選択する。	「緊急血管造影」:「初療の期間」後から「病室へ入室」「転院・転科」「死亡」するまでに行う血管造影。 ・「初療の期間」直後に手術を行い、その後病室に入室せずに血管造影を行った。緊急血管造影 ・「初療の期間」後に血管造影を行う予定であったが、造影検査室が空いていないため一旦ICUに入室後に血管造影を行った 緊急血管造影ではない
58		血管造影開始時刻	時刻	hh:mm	緊急血管造影を実際に開始した時間。緊急血管造影の開始は最初にX線を放射した時間とする。不明の場合は入室時間、CT室へ出発した時間で代用しても構わない。	複数部位を造影した場合も最初にX線を放射した時間とする。年は西暦で、時間は24時間制表記で入力する。おおよその時間しか分からないときは、その時間を入力し「推定」にチェックを入れる。不明の時は日時を入力せず「不明」にチェックを入れる。「緊急血管造影」の項目で「不明」を選択した場合、「血管造影開始時間」の項目は全てblankとする。「不明」にチェックをいれてはならない。	
59		緊急救命処置	選択	[3.緊急処置]シート参照。「施行せず」も加える。	別場		
60	手術施行例では、コア項目	初期24時間以内輸血	選択	1.あり 2.なし	来院後24時間以内に輸血を行ったかどうか。	・あり ・なし ・不明 「不明」は輸血したかどうか分からないときに選択する。	「輸血」:赤血球輸血(全血、MAPなど)に限る。新鮮凍結血漿、血小板、アルブミン製剤は含まない。
61	手術施行例では、コア項目	輸血開始時刻	時刻	hh:mm	来院後24時間以内に投与した輸血の開始日時。	年は西暦で、時間は24時間制表記で入力する。おおよその時間しか分からないときは、その時間を入力し「推定」にチェックを入れる。投与時間が不明の時は日時を入力せず「不明」にチェックを入れる。「初期24時間以内輸血」の項目で「不明」を選択した場合、「輸血開始日時」の項目は全てblankとする。「不明」にチェックをいれてはならない。	
62	手術施行例では、コア項目	初期24時間輸血総量	数字	単位数で記入	来院後24時間以内に投与した輸血量。	来院後24時間以内に投与した輸血量を単位で入力する。輸血量は小数第一位までを有効数字とする。「輸血総量」が不明な場合はあり得ない。	
63	手術施行例では、コア項目	初回手術(TAE含む。小手術は含まない)	選択	1.開頭 2.穿頭 3.開胸 4.開腹 5.骨折手術 6.血行再建 7.TAE 8.鏡視下手術 9.肢再接着 10.止血 11.その他 12.不明	「初療の期間」後から「転院・転科」「退院」「死亡」するまでに行われる手術の種類。	「不明」は不明したかどうか分からないときに選択する。緊急手術だけでなく入院3日後に行った手術等も含む。	
64	手術施行例では、コア項目	初回手術日	日付	yyyy/mm/dd	初回手術を実際に開始した時間。	複数部位を手術した場合は最初に行った手術の開始時間とする。年は西暦で、時間は24時間制表記で入力する。おおよその時間しか分からないときは、その時間を入力し「推定」にチェックを入れる。不明の時は日時を入力せず「不明」にチェックを入れる。「初回手術」の項目で「不明」を選択した場合、「初回手術開始時間」の項目は全てblankとする。「不明」にチェックをいれてはならない。	
65		初回手術室入室時刻	時刻	hh:mm			
66		初回手術開始までの時間	*	計算時刻	= [#65手術開始時刻 - #17病院着時刻]を計算		
67		手術適応	選択	[4.手術適応]シート参照		手術を行った目的が診療録に記載されていること。記載されていない場合は「その他」を選択すること。	
68		手術内容	選択	[5.手術]シート参照		手術の内容が診療録に記載されていること。記載されていない場合は「その他」を選択すること。	
69		48時間以内の再手術(TAE含む)	選択	1.開頭 2.穿頭 3.開胸 4.開腹 5.骨折手術 6.創外固定 7.TAE 8.鏡視下手術 9.その他 10.不明	初回手術終了から48時間以内に開始した。初回手術と同一部位の予定しない手術の種類	「不明」は再手術を施行したかどうか分からないときに選択する。Damage control surgeryなど計画された同一部位の手術を除く。	

項目番号	項目分類	入力項目一覧	必須項目	形式	備考、入力上の留意点	定義	備考	語句の定義
	診断名と損傷重症度							
70		頭頸部損傷病名とAIS90スコア		文字	AIS一覧から選択入力可能にする。該当なしの欄必要	各部位における最大AISスコア。ただしAISはAIS-90 update 98を使用すること。		
71		顔面損傷病名とAIS90スコア		文字	AIS一覧から選択入力可能にする。該当なしの欄必要			
72		胸部損傷病名とAIS90スコア		文字	AIS一覧から選択入力可能にする。該当なしの欄必要			
73		腹部損傷病名とAIS90スコア		文字	AIS一覧から選択入力可能にする。該当なしの欄必要			
74		四肢骨盤損傷病名とAIS90スコア		文字	AIS一覧から選択入力可能にする。該当なしの欄必要			
75		体表損傷病名とAIS90スコア		文字	AIS一覧から選択入力可能にする。該当なしの欄必要			
76		ISS	*	計算値	注.自動計算が望ましい(AIS 3の外傷例を対象とするならMin9~Max75、いずれかのAISが6の時、75)		自動計算	
77		TRISS P _s 値	*	計算値	(AIS90での係数使用)年齢、RTS、ISS項目入力のないとき、計算しない		自動計算	
78		日本外傷学会損傷分類		選択	[6.外傷学会分類]から選択チェック入力 現在、保留	別掲		
79		頭部外傷ではTCDB分類		選択	SDH / EDH / ICH / DBI(1) / DBI(2) / DBI(3) / DBI(4) / MIX / NonEvacu.Mass / 該当せず	別掲		
80		合併症		選択	[7.合併症]シート参照(複数選択可)	別掲		
	退院情報							
81		初期治療後入院病棟		選択	1.救命救急センター(ICU)入院 2.一般病棟入院 3.救急室または手術室にて死亡 4.その他	初期治療後の患者収容先のカテゴリー	「ICU」とは、救命救急センター内ICUのほか、母体病院内ICUやCCUなど集中治療設備と人員を有した部門を示す。認可されていないICUでも機能的にICUとして利用してはいけずICUとして構わない。 「入院せず」は、外来の時点における他の医療機関他(警察も含む)への転送・転院、自宅退院などの場合を含む。 「一般病棟」とは、救急診療部門内のstep down ICU、HCU、他科病棟を含む。	
82		入院後診療科		選択	1.救急科(救急専従医) 2.外科 3.脳外科 4.整形外科 5.形成外科 6.その他(初療で死亡の場合でも、最終的に責任を持った科名)	入院後に主たる診療責任を持った科名		
83		人工呼吸管理日数		数値	日数を直接入力。該当せずは「0」	人工呼吸器管理を施行した日数	手術時の人工呼吸管理を含まない。ただし手術後にそのまま人工呼吸管理を継続した場合は手術時の人工呼吸管理も含める。	
84		ICU在室日数		数値	日数を直接入力。該当せずは「0」	ICUに在室した日数	短時間でも一度入室すれば日数に含める。	
85		救急部門退出口(転科日)		日付	1.yyyy/mm/dd 2.不明 注.	救急部門から患者が退出した期日	初療ないし急性期後、院内の特定の専門科で以後の診療が行われた場合、退院まで救急科(救急専従医)が診療したら「退院日」と同じになる。	
86		救急部門管理日数	*	数値	=「入室日」-「救急部門退出口」	救急部門において入院後診療した期間		
87		退院日		日付	1.yyyy/mm/dd 2.不明	退院した期日	退院まで救急科(救急部門)が診療したら「救急部門退出口(転科日)」と同じになる。	
88		退院後転出先		選択	1.自宅 2.他の医療機関転院 3.その他転出 4.死亡退院	退院後の患者転出先のカテゴリー	その他転出は、他科転棟が含まれる	
89		退院時機能的自立度(FIM)		選択	[8.FIMスコア]シート参照	退院時の機能的自立の程度		
90		入院日数	*	計算値	=「入院日」-「退院日」(同日の場合は「0」。CPAOAや超重症例では同日に死亡する可能性が高い)	患者の入院日数		
91		死亡日時		日付と時刻	1.yyyy/mm/dd/tt/mm 2.不明	死亡した日時		
92		剖検		選択	1.司法解剖 2.行政解剖 3.病理解剖 4.なし	死亡後に遺体を解剖すること	死亡の転帰の場合のみ本項目を入力する	